

どう対応する？

## 西条市の医師不足

(リベラル西条)

### 問

全国の市町村で医師不足が大きな問題となつていますが、その原因の一つと言われる新医師臨床研修制度が、本市でも影響を及ぼしているのか。その中でも、小児科・産婦人科の医師不足について、本市でも対策の重点にすべきではないのか。

また、全国的な傾向以外で本市特有の医師不足の原因・課題はあるのか。

### 答

平成16年度に始まった新医師臨床研修制度により、



医師確保は喫緊の課題

全国的に地方大学医局への入局者が減少し、大学医局の医師が

不足した結果、大学医局は、それまで派遣していた地方病院から医師を引き揚げざるを得なくなり、本市においてもその影響を大きく受け、医師数は、平成

14年末の222人から平成22年末には185人と、37人、16・7パーセント減少している。小児科・産婦人科医師の偏在、不足については、本市においても喫緊の課題であり、優先して対応すべきと考えている。

これらの問題については、本市特有の原因というものはないが、新医師臨床研修制度の見直しや、医師確保対策の充実を引き続き国や関係機関に強く働きかけるとともに、本市において新たに創設する医師確保奨学金制度により、地域医療に貢献する医師の確保に努めていきたい。

早期の完成を！

## 東予港港湾整備

(リベラル西条)

### 問

東予港西条地区では、台風や荒天時の波浪などを防御する防波堤が未整備のため、港湾施設や艦装中の船舶、工場



東予港西条地区

施設などへの被害が心配されている。平成23年度に事業化された西条第1(東)防波堤の建設は、産業や企業活動、物流の確保、市民生活などの不安を解消するものであり、早期完成が求められているが、どのように取り組もうとしているのか。

### 答

この整備については、企業合理化促進法により愛媛県が実施するものであるが、本市も事業総額の3分の1の費用を負担し、平成28年度の完成

を目指して取り組んでいるところである。本市においては、これまで関係漁協との漁業補償交渉の連絡調整を市職員が行うほか、県との連絡を密にし、事業が円滑に進むよう努めてきた。

今後も東予港港湾整備促進期成同盟会と一体となり、早期完成に向け、更に関係機関に要望活動を行っていききたい。

まちづくりに生かすには？

## 白い羽のポスト

(西条市民クラブ)

### 問

千の風になつたあなたへ贈る手紙を投函できる白い羽のポストが、「千の風になつて」のまちづくり実行委員会により制作され、市へ寄贈された。このことは実行委員会のメンバーを中心として、長年努力を積み重ねてきたことによる大きな結実であると評価をするものであるが、今回の設置を今後のまちづくりにどのように生かしていこうと考えているか。

### 答

千の風になつたあなたへ贈る手紙事業を実施することで手紙に込められた、悲しみを乗り越え今を力強く生きる

人の思いや姿を紹介することにより、多くの人々に生きる勇氣や希望を伝えるとともに、名曲にちなんだ新たな文化創造都市

西条市を全国に発信したい。

また、手紙募集の成果を表彰イベントや朗読会の開催、作品集の発刊、作品展の開催などさまざまな形で披露し、交流人口の増加、地域の活性化につなげていきたい。

更に、手紙事業をまちぐるみで実施することにより、手紙のふるさとにふさわしい教育・文化の薫り高いまちづくりを目指していきたい。



西条図書館に設置されている白い羽のポスト